

Education for Oral Rehabilitation Occlusion and All ceramics restoration course

講師

高橋 登先生

東京都世田谷区開業

1990年 東京医科歯科大学卒業
 2002年 タカハシデンタルオフィス開設
 2004年 東京医科歯科大学 客員臨床講師
 2009年 東京医科歯科大学 非常勤講師

歯科領域の2大疾患は齲蝕と歯周病と言われるが、我々の前には未だ容易ならざる歯科疾患が立ちあがる。「咬合障害」である。一見、う蝕や2次カリエスとみられる疾患でも実は咬合問題が潜んでいるケースは意外に多い。ベーシックコースは咬合について総合的に理解を深め、正しい診断と対処が行えるGPの養成を目標としている。ディプログラミングテクニックを習得し中心位の診査を高い精度で行っていただく。2ケイ酸リチウム・オーバーレイとジルコニア冠を実際にセミナー内で製作、セットまで習得する。マスターコースでは用意された被験者の診断や治療計画、咬合調整／Equilibrationを行い、矯正歯科とのコラボレーションに必要な基礎知識の習得も図る。咬合治療と審美歯科を高いレベルで使いこなせる補綴医の養成を目標とする。

ベーシックコース(全4回)

日 程：① 4月 4日(土)・ 5日(日)
 ② 5月 2日(土)・ 3日(日)
 ③ 6月 6日(土)・ 7日(日)
 ④ 7月18日(土)・19日(日)

マスターコース(全4回)

日 程：① 9月19日(土)・20日(日)
 ② 10月17日(土)・18日(日)
 ③ 11月21日(土)・22日(日)
 ④ 12月19日(土)・20日(日)

マスターコース受講条件：弊社主催のベーシックコースをご受講いただいた先生限定となります。

時間

土曜日14:00~19:00
 日曜日10:00~16:00

会場

KaVo 東京セミナールーム

〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー15F
 ※状況により会場が弊社セミナールームから近隣の他会場へ変更となる可能性があります。

定員

各コース8名

受講料

各コース¥600,000

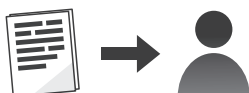
(消費税込、教材・材料費込、昼食込)

※受講料のお振込期限は、セミナー開催日の1ヶ月前となります
 ※第1回目研修終了後、高橋登先生を囲んで懇親会を予定しております
 ※次年度への振替えおよび返金はできません

1. 弊社WEBサイトよりお申込ください。



2. 10営業日以内にお申込確認内容のご案内をメールいたします。



3. 2の確認メール到着後、1週間以内に受講料をお振込みください。ご入金を持ちまして正式なお申込となります。



※お申込みはセミナー開催日の5営業日前までお願いいたします。(セミナーが土曜の場合、その週の月曜までにお申込みください。弊社休業日は土日祝日となります)

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、定員に満たない場合でも、締め切りとさせていただきます可能性がございます。

※各金融機関発行の申込明細票が正規領収書としてご利用いただけますので、こちらを領収書とさせていただきます。

※キャンセルポリシー ご入金後のキャンセルにつきましては、開催日より7営業日(土・日・祝除く)前の16時までにE-mail(DEN-KAVO-Japan-seminar@kavo.com)宛にご連絡ください。これ以降のキャンセルにつきましては、100%をキャンセル料として申し受けます。なお、別開催日への変更はいたしかねます。何卒ご了承ください。詳しくはお申込み後、詳細案内をお送りいたしますのでそちらをご覧ください。

Education for Oral Rehabilitation

Occlusion and All ceramics restoration course

セミナー内容(全ての日程で実習を行います)

ベーシックコース

第1回 咬合と口腔疾患

顎関節の解剖と機能／顎機能異常の病態と治療／EOR咬合治療のシーケンス／
咬合器の扱い

第2回 フェイスポートランスファーと中心位採得

高い精度のスタディーモデル印象・製作／フェイスポートランスファー／
ディプログラマー／中心位採得とマウンティング

第3回 診断・オールセラミックスレストレーション1

咬合診断と計画／Compromised Diagnose Wax-Up／オーバーレイ
セラミックスマテリアル・形成・印象・プロビジョナル

第4回 オールセラミックス2

支台築造／ラバーダムアイソレーション／
現在最も信頼のおけるオールセラミックスセメンテーションシステム

マスターコース

第1回 スクリーニング検査と咬合診断

実際に数名の被験者の咬合スクリーニング検査と咬合器診断を行い、
リスク診断能力と中心位採得技術をトレーニングする。

第2回 咬合治療計画と審美的治療計画

治療用機能咬合のセットアップ計画に加え、前歯形態の審美的考察を行い、
実際のケースで診断用ワックスアップを行う。／Occlusal Equilibration

第3回 ディプログラミングと咬合調整・エッセティックモックアップ

実際の被験者でフルマウスティップログラム咬合調整を行い、
治療用顎位・中心位を獲得する。前歯審美モックアップにて機能と審美チェック。

第4回 ファイナライズ オクルージョン

チェックバイトデータをもとに咬合面形態をデザイン。
長期予後を見据えた咬合高径変化と不変の判断基準。矯正治療計画について。